

令和 8 年度 定時社員総会

日 時 令和 8 年 6 月 9 日（火）午後 2 時

場 所 サイプレスガーデンホテル
名古屋市熱田区金山町一丁目 9 番 8 号
Tel 052-679-1661 / Fax 052-679-1663

一般社団法人 愛知県環境測定分析協会
〒460-0022 名古屋市中区金山一丁目 2 番 4 号
アイディエリアビル 405
Tel 052-321-3803 / Fax 052-684-4238

表 彰 式 次 第

- 1 開 式
- 2 愛知県知事表彰（計量関係功労者）
- 3 令和８年度正会員従業員表彰
- 4 令和８年度環境に関する喚起標語入選者表彰（特選受賞者）
- 5 受賞者代表謝辞
- 6 閉 式

愛知県知事表彰受賞者（計量関係功労者）

氏 名	所 属 事 業 所
石 神 昇	株式会社 愛研

（敬称略）

令和 8 年度正会員従業員表彰受賞者（ 1 3 名）

氏 名	所 属 事 業 所
新 居 友 日	株式会社三進製作所
伊 藤 颯 飛	株式会社イズミテック
大 西 政 也	株式会社大同分析リサーチ
大 橋 正 美	株式会社愛研
織 田 由香利	株式会社東海分析化学研究所
近 藤 美枝子	株式会社ユニケミー
佐 藤 哲	東亜環境サービス株式会社
中 野 雅 人	株式会社愛研
中 村 美弥尾	株式会社コスモ環境衛生コンサルタント
西部山 由香里	一般財団法人東海技術センター
増 田 有 紀	一般社団法人愛知県薬剤師会
水 谷 佑 香	一般社団法人愛知県薬剤師会
森 木 みどり	株式会社環境科学研究所

（敬称略：氏名の五十音順）

令和 8 年度環境に関する喚起標語入選者

「環境技術の価値向上」をテーマとして喚起標語を募集したところ、131 作品の応募があった。

区分	標 語	氏 名 (敬称略)	所 属
特選	信頼築いて価値を生む 価格に映す測定技術	近藤 好	サンエイ(株)
入選	信頼を生む技術には、 信頼に見合う価値がある	柿家 睦美	(株)ユニケミー
入選	健やかな未来をつなぐ環境技術 価値向上でつむぐ信頼	掛野 紋	(株)環境公害センター
入選	環境測定技術で築く 価値ある未来 次世代への確かな 架け橋に	岸名 亜紀子	(株)テクノ中部
入選	みんなで創る未来の品質 高めるほどに 価値高まる	酒井 美智子	(株)イズミテック
入選	確かな分析正しい評価 価値でつなぐ未来の環境	高須 啓史	東レコムズ名古屋(株)
入選	測定技術は信頼の源、 確かな対価で築く未来	林 研一郎	(株)環境科学研究所
入選	価格転嫁は未来への投資 明日の社会を支える確かな計量	藤山 法士	(一社)愛知県薬剤師会
入選	適切な価格転嫁は 適切な分析技術の再評価	増田 享子	(株)東海分析化学研究所
入選	正しい計量 確かな技術 高める価値が 守る未来	向野 高明	(株)愛研
入選	環境守る技術のコスト 正しく評価し 繋げよ未来に	山本 敦恵	(一財)東海技術センター

(入選は、氏名(敬称略)の五十音順)

令和 8 年度 定時社員総会次第

1 開 会

2 会長挨拶

3 来賓祝辞

4 議事録署名人の選出

5 議 事

(1) 第 1 号議案 令和 7 年度事業報告について

(2) 第 2 号議案 令和 7 年度収支決算について

(3) 第 1 号報告 令和 8 年度事業計画について

(4) 第 2 号報告 令和 8 年度収支予算について

6 その他

7 閉 会

8 特別講演

演題 「今後の労働関係法の改正に向けて今から出来る実務対応」

講師 アライツ社労士事務所 浅 野 貴 之 氏

9 懇親会

第1号議案 令和7年度事業報告について

※「オンライン形式」など従来の「会場・対面形式」以外で開催した事業については、本文中にその旨（**オンライン形式**、**書面開催**等）を記載しました。

1 正会員数 63社（令和7年度末、年度当初は63社）

※令和8年度当初に1社入会あり→64社

2 賛助会員数 17社（令和7年度末、年度当初は18社）

※令和8年度当初に1社入会あり→18社

3 令和7年度定時社員総会

開催日・場所：令和7年6月9日（月）・サイプレスガーデンホテル

内 容：各種表彰式（計量関係功労者、正会員従業員、令和7年度環境喚起標語の特選受賞者、第7回写真コンテスト各部門の金賞受賞者）

令和6年度事業報告・収支決算の承認

令和7～8年度役員の選任

特別講演 岩瀬宏之氏（(株)帝国データバンク名古屋支店部長）

『TDB企業情報からみる中小企業のリスク』

4 理事会

開催日	議題
第1回理事会 7.4.15（火） （Niterrra日本特殊陶業 市民会館（以下「市民会 館」）第2会議室）	1 賛助会員の退会 2 前回（令和6年度第5回）理事会以降の事業報告 3 各委員会の活動状況報告（景況調査結果を含む） 4 令和7年度定時社員総会 5 令和7年度行事予定 6 令和6年度事業報告（案） 7 令和6年度収支決算（案） 8 役員候補及び委員長候補の選出 9 令和7年度「正会員従業員表彰」 10 第7回写真コンテストの審査結果
第2回理事会 7.6.9（月）	1 会長及び副会長の選定 （定時社員総会後に、サイプレスガーデンホテルで開催）
第3回理事会 7.7.18（金） （市民会館第2会議室）	1 第1回理事会以降の事業報告 2 令和7年度定時社員総会の結果について 3 各委員会の活動状況報告（今後の活動計画も含む） 4 第1回ブロック会議について 5 「日環協経営セミナー全国大会 in 富山 with 能登」について

第4回理事会 7.10.21（火） （市民会館第2会議室）	1 前回理事会以降の事業報告 2 各委員会の活動状況報告（今後の活動計画も含む） 3 第1回ブロック会議について（報告） 4 令和7年度収支決算（中間報告） 5 事務職員の労働条件の変更について 6 「日環協経営セミナー全国大会 in 富山 with 能登」について
第5回理事会 7.12.19（金） （市民会館第2会議室）	1 前回理事会以降の事業報告 2 各委員会の活動状況報告（今後の活動計画も含む） 3 令和7年度特別企画セミナーについて 4 「環境に関する喚起標語」の募集について 5 「もりの学び舎」における環境啓発活動への協賛について 6 第2回ブロック会議について
第6回理事会 8.3.12（木） （市民会館第2会議室）	1 前回理事会以降の事業報告 2 各委員会の活動状況報告（今後の活動計画も含む） 3 令和8年度正会員従業員表彰 4 令和8年度事業計画（案）及び収支予算（案） 5 愛知県知事表彰（環境保全関係功労者・計量関係功労者） 6 「環境に関する喚起標語」の選考 7 会員の入退会 8 第2回ブロック会議について（報告）

5 委員会活動……委員会名の後の（ ）内は開催回数

(1) 総務委員会 （5回：全て書面開催）

- ア 令和7年度「正会員従業員表彰」の候補者を選定した。
- イ 令和7年度景況調査を実施した。
- ウ 令和8年度「環境に関する喚起標語」を募集して優秀作品を選定、理事会へ報告した。
- エ 環境月間講演会、特別企画セミナーを企画し開催した。

(2) 企画・広報委員会 （4回：うち2回は書面開催）

- ア 施設見学会（名古屋港水族館）を企画・運営した。
- イ 社員総会後の特別講演、環境月間講演会の講師を選定するとともに、それらの開催時に協力した。
- ウ 会報誌「あいかんきょう」第163・164・165・166号を編集・発行した。
- エ 第7回写真コンテストの優秀作品の候補を選定した。

(3) 教育研修委員会 （5回）

- ア 環境測定分析新任者研修会、精度管理研修会①（基礎統計コース）、精度管理研修会②（中堅実務コース）、環境計量士等研修会及びSOP研修会を企画し開催した。
- イ アのうち、SOP研修会については「会場・対面形式」で、それ以外の研修会については「オンライン形式」で開催した。

(4) 技術委員会 （３回：全体会議後に各WGを開催）

ア 共同実験（水質）を実施し、結果検討会をハイブリッド開催した。

イ 大気・臭気WG勉強会を開催した。

ウ ガスマーターの自主検査を２回実施した。

(5) 災害緊急時対応委員会 （２回）

ア 協定を締結している愛知県、豊橋市、豊田市、岡崎市及び一宮市と、「大規模地震による災害を想定した有害大気汚染物質環境調査の訓練」を１０月２８日に実施した。

イ 愛知県、県内市町村及び廃棄物関係団体が実施する災害廃棄物処理に関する図上演習や、愛知県が開催する災害廃棄物処理に関する研修会に参加した。

ウ 「災害時相互応援協定」を締結している９県単（福島、埼玉、千葉、東京、神奈川、横浜市、愛知、大阪、堺市の協議会）による「意見交換会」（６月・幹事：大環協・開催場所：大阪）に参加するとともに、首都圏環境計量協議会連絡会主催の「2025年度 環境計量証明事業団体合同研修会」（２月・東京）に参加し、自治体との災害防止協定に関する活動内容等について意見交換を行った。前者の「令和８年度意見交換会」は愛知開催となるため、準備を開始した。

6 研修会等実施状況

研修会等の名称 (開催場所)	開催日 (参加者数)	演題及び講師(敬称略)
環境測定分析新任者研修会 オンライン形式	7.6.19(木) (62名)	1「環境計量の仕事とは」 (一財)東海技術センター 山本 敦恵 2「精度よい測定のために」 ①サンプリングの基礎 ②分析技術－化学分析－ (株)テクノ中部 判治 寿高
	7.6.20(金) (62名)	2「精度よい測定のために」 ③分析技術－機器分析－ ④検量線と標準物質 ⑤データの取扱 (株)環境科学研究所 牧原 大 3「労働安全衛生」 作業環境測定インストラクター 新谷良英
環境月間講演会 (市民会館第1会議室)	7.6.26(木) (34名)	1「愛知発の環境イノベーションの創出について」 愛知県環境局環境政策部環境政策課 課長補佐 近藤 雅史 2「アスベスト問題の最近の動向 ～教訓は活かされているか～」

		愛知教育大学 創造科学系 健康支援センター 特別准教授 榊原 洋子
精度管理研修会① 【基礎統計コース】 オンライン形式	7. 7. 25 (金) (43名)	1 「基本統計量」 (株) 東海分析化学研究所 夏目 訓良 2 「検定」 (株) ユニケミー 今井 尚洋 3 「外れ値の検定」 (一社) 愛知県薬剤師会 小川 光寛
精度管理研修会② 【中堅実務コース】 オンライン形式	7. 9. 18 (木) (36名)	1 「環境法令について」 (株) 環境公害センター 牛古 誠 2 「サンプリング及び環境分析における精度管理」 (一社) 愛知県薬剤師会 小川 光寛 3 「機器分析の精度管理」 (一財) 東海技術センター 土屋 忍
	7. 9. 19 (金) (36名)	4 「不確かさの検出」 (株) 環境科学研究所 牧原 大 5 「数値の扱い方、下限、妥当性及び基本統計量」 (株) 東海分析化学研究所 夏目 訓良 6 「相関分析・回帰分析」 愛知県立名古屋工科高等学校 井上 満
環境計量士等研修会 オンライン形式	7. 11. 13 (木) (59名)	1 「解体等工事の石綿飛散防止対策に係る大気汚染防止法の規制」 愛知県環境局環境政策部水大気環境課 課長補佐 川島 祥子 2 「土壌中のナノプラスチック濃度の測定に向けてー現状と課題」 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 ネイチャーポジティブ技術実装研究センター 土田 恭平 3 「環境基準等の設定に関する資料集について ～基準値設定の背景となるリスクの概念と水質に関するリスク評価を中心に～」

		国立研究開発法人 国立環境研究所 環境リスク・健康領域 環境リスク科学研究推進室 室長 大野 浩一 4 「PFAS 分析、前処理の為のポイントと注意点」 5 「製品紹介」 ジーエルサイエンス(株) 総合技術本部カスタマーサポートセンター サブリーダー 高原 玲華
共同実験（水質）結果検討会 （市民会館第1会議室とオンラインの ハイブリッド形式 ）	7. 12. 12（金） （26名）	「模擬排水中の全窒素及び亜硝酸性窒素の分析」 結果の解説後、参加者全員でディスカッションを実施
大気・臭気WG勉強会 （市民会館第1会議室）	8. 1. 27（火） （21名）	1 「3点比較式臭袋法について 試料採取～測定まで」 2 「サンプリングバッグの使い方」 3 「臭気指数測定体験」 4 「サンプリング機材、バッグ類の紹介」 近江オドエアーサービス(株) 技術部 部長 小垂 将吾
SOP（標準作業手順書）研修会 （市民会館第2会議室）	8. 1. 30（金） （21名）	1 「SOPとは」 2 SOPのグループ作成演習 3 作成したSOPのグループ発表 (株)ユニケミー 池田 寛
特別企画セミナー （市民会館第1会議室）	8. 3. 25（水） （61名）	1 「計量証明事業所への立入検査について ～最新情報～」 愛知県経済産業局商業流通課 千東 尚久 2 「情報セキュリティ 10大脅威とその対策」 独立行政法人情報処理推進機構（IPA） セキュリティセンター 研究員 金子 成徳

7 広報活動

(1) 環境保全の必要性及び重要性を広報するとともに、関係機関が開催する行事に積極的に参加した。

(2) 会報誌「あいかんきょう」の発行

号	発行月日	主 な 記 事
163	7. 4. 20	災害時相互支援協定締結団体による意見交換会 委員会活動報告 「環境計量士等研修会」受講報告 「S O P 研修会」受講報告 「景況調査」結果報告 時の話題「P F A S の水道水質検査の義務化」 喚起標語 入選作品紹介 事務局からのお知らせ
164	7. 7. 20	定時社員総会報告 会長・副会長 就任挨拶 新監事・新理事紹介 委員会活動報告・今後の抱負 「特別企画セミナー」開催報告 新会員紹介 事務局からのお知らせ
165	7. 10. 20	委員会活動報告 「環境月間講演会」開催報告 「環境測定分析新任者研修会」受講報告 「精度管理研修会①（基礎統計コース）」受講報告 私の趣味 事務局からのお知らせ
166	8. 1. 1	年頭挨拶（会長、愛知県知事） 委員会活動報告 「災害緊急時合同訓練」実施報告 「精度管理研修会②（中堅実務コース）」受講報告 「施設見学会」開催報告 事務局からのお知らせ

(3) 情報提供

環境測定分析に関係して収集した情報を、情報提供を申し込んだ会員 28 社に随時送付した。

8 共同実験（クロスチェック）

日環協中部支部との共催事業として実施した。

	内 容	実 施 日	参加社数	うち県外
共同実験（水質）	模擬排水中の全窒素及び亜硝酸性窒素の分析	7. 7. 9(水)	42社 (43口)	10社 (11口)
	結果検討会 ハイブリッド形式	7. 12. 12(金)	24名 (26名)	5社 (5名)

9 環境相談窓口の設置

県民からの分析機関の照会や環境に関する相談に対応した。

10 関係行政機関への協力

- (1) 愛環協が、愛知県、豊橋市、豊田市、岡崎市及び一宮市とそれぞれ締結している協定に基づき、大規模地震による災害を想定した有害大気汚染物質環境調査の訓練（10月28日）に参加した。
- (2) 愛知県がNPO法人「もりの学舎自然学校」との協働により、愛・地球博記念公園（モリコロパーク）で実施している「自然体験プログラム」（ゴールデンウィーク特別企画）に協賛した（雨天により5月25日に振替えて実施）。
- (3) 5月25日に愛知県立愛知総合工科高校で開催された「高校生ものづくりコンテスト（化学分析部門）」愛知県大会を後援するとともに、分析試料の提供及び表彰に協力した。

11 測定済証紙の斡旋

令和8年度用として、次のとおり計 723 枚を斡旋した。

水 質	117 枚
排ガス	583 枚
騒 音	23 枚
計	723 枚

12 ガスメーター自主検査

機器管理基準に基づくガスメーターの自主検査を、(株)テクノ中部の協力により2回実施し、計40台の検査を実施した。

第1回	令和7年6月30日～7月14日	受検台数	20 台
第2回	令和8年1月26日～2月13日	受検台数	20 台
		計	40 台

1.3 愛知県知事表彰

計量関係功労者として、志賀政雄氏（中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株)）が、令和7年度定時社員総会において表彰された（環境保全関係功労者は、該当者なし）。

1.4 正会員従業員表彰

環境測定分析業務に7年以上勤続の正会員従業員16名を、令和7年度年度定時社員総会において表彰した。

受賞者（氏名の五十音順、敬称略）

氏 名	所 属 事 業 所
荒川 正樹	株式会社環境科学研究所
尾崎 芙実	一般社団法人愛知県薬剤師会
加知 直樹	株式会社大同分析リサーチ
河合 新	株式会社環境公害センター
河井 詩歩	株式会社環境公害センター
川口 陽大	株式会社イズミテック
杉浦 百加	一般財団法人東海技術センター
竹内 こずえ	壽化工機株式会社
近井 香子	株式会社ユニケミー
遠山 侑佳	株式会社愛研
福永 達哉	サンエイ株式会社
二村 剛史	一般社団法人愛知県薬剤師会
堀部 泰生	株式会社ユニケミー
松延 章吾	株式会社イズミテック
山添 俊徳	株式会社大同分析リサーチ
山中 智香	東亜環境サービス株式会社

1.5 令和8年度環境に係る喚起標語の募集及び活用

「環境技術の価値向上」をテーマに喚起標語を募集したところ、17社から131作品の応募があり、この中から特選1作品及び入選10作品（10頁参照）を選出した。特選作品については、令和8年度の愛環協喚起標語としてポスターを作成し、会員に配付した。

1.6 ブロック会議

理事会審議事項の伝達、各会員の近況報告、その他関心事項など、会員相互の情報交換や意思疎通を図るとともに、協会事業の周知と協会に対する要望事項を聴取するため、第1回会議を令和7年9～10月に、第2回を8年2月に4つのブロックごとに開催し、多くの出席者のもと、活発な意見交換や近況報告が行われた。

第2回ブロック会議では、希望する賛助会員からのPR等も行われた。

1 7 関係団体活動

(1) 一般社団法人日本環境測定分析協会中部支部

次の事業を、中部支部と共催で実施（一部の研修会は中部支部から受託）した。

ア 共同実験（8 参照）

イ 各種研修会（6 参照）

(2) 愛知県計量連合会

県内計量関係団体の一員として、業務の連絡をした。

(3) 中部環境計量士会と連携・協調した。

第2号議案 令和7年度収支決算について

貸 借 対 照 表

(令和8年3月31日現在)

単位:円

科 目	当年度(a)	前年度(b)	差 異(a-b)
I 資産の部			
1. 流動資産			
普通預金	4,699,015	4,135,878	563,137
定期預金	173,046	163,000	10,046
未収金	0	0	0
流動資産合計	4,872,061	4,298,878	573,183
2. 固定資産			
電話加入権	72,000	72,000	0
商標登録権	40,000	40,000	0
固定資産計	112,000	112,000	0
資産合計	4,984,061	4,410,878	573,183
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	16,981	18,211	△ 1,230
未払金	0	0	0
流動負債計	16,981	18,211	△ 1,230
2. 固定負債			
退職給与引当金	173,000	163,000	10,000
固定負債計	173,000	163,000	10,000
負債合計	189,981	181,211	8,770
III 正味財産の部			
一般正味財産			
正味財産合計	4,794,080	4,229,667	564,413
負債及び正味財産合計	4,984,061	4,410,878	573,183

正味財産増減計算書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

単位:円

科 目	当年度(a)	前年度(b)	差 異(a-b)
I 一般正味財産の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取入会金			
受取入会金	50,000	0	50,000
② 受取会費			
受取会費(正会員)	7,560,000	7,560,000	0
受入会費(賛助会員)	900,000	950,000	△ 50,000
③ 事業収益			
研修会等収入	1,637,500	1,603,000	34,500
クロスチェック参加料	836,000	1,076,000	△ 240,000
ガスメーター自主検査料	440,000	385,000	55,000
その他の事業収入	387,420	466,240	△ 78,820
日環協中部支部委託事業収入	1,418,903	816,240	602,663
雑収入	311,871	300,502	11,369
経常収益計	13,541,694	13,156,982	384,712
(2) 経常費用			
① 事業費			
委員会費	200,120	155,396	44,724
研修会等費	1,627,186	1,248,392	378,794
クロスチェック費	181,138	359,205	△ 178,067
ガスメーター自主検査費	440,000	385,000	55,000
広報活動費	1,553,399	1,406,087	147,312
ブロック活動費	255,720	294,572	△ 38,852
調査研究費	0	0	0
環境関係行事協賛費	55,000	55,000	0
関係団体会費・分担金	0	0	0
環境相談事業費	0	0	0
その他の事業費	61,622	279,178	△ 217,556

単位:円

科目	当年度	前年度	差異
② 一般管理費			
給与手当	3,240,000	3,240,000	0
福利厚生費	1,197,967	1,207,741	△ 9,774
事務所賃貸料	2,080,716	2,080,716	0
水道光熱費	904,849	899,191	5,658
通信運搬費	133,722	128,237	5,485
旅費交通費	64,030	61,800	2,230
印刷費	45,200	80,119	△ 34,919
消耗品費	79,769	65,039	14,730
総会費	539,040	437,365	101,675
その他会議費	124,778	89,006	35,772
事務機リース料	38,989	83,166	△ 44,177
租税公課	81,600	71,600	10,000
退職給付費用	10,000	10,000	0
雑費	62,436	117,721	△ 55,285
経常費用計	12,977,281	12,754,531	222,750
当期経常増減額	564,413	402,451	161,962
2. 経常外増減の部			
経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産	564,413	402,451	161,962
一般正味財産期首残高	4,229,667	3,827,216	402,451
II 正味財産期末残高	4,794,080	4,229,667	564,413

監 査 報 告 書

一般社団法人愛知県環境測定分析協会
会 長 林 辰 哉 様

私は、一般社団法人愛知県環境測定分析協会の令和7年度（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）における貸借対照表、正味財産増減計算書等の会計書類及び業務について精査し、監査を行った結果、いずれも正確かつ適正であったことを確認いたしました。

令和8年4月13日

一般社団法人愛知県環境測定分析協会

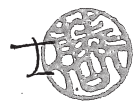
監 事

大 野



監 事

藤 山 法 士



第1号報告 令和8年度事業計画について

1 研修の開催

- (1) 環境分析技術、法令等講習会の開催

計量法改正等の説明会を開催する。

開催時期

必要に応じ随時

- (2) 環境測定分析技術者研修会の開催

ア 騒音・振動分野の勉強会

開催時期

令和8年4月17日

イ 環境測定分析新任者研修会（日環協中部支部より受託：オンライン形式）

開催時期

令和8年6月11・12日

ウ 精度管理研修会①【基礎統計コース】（日環協中部支部と共催：オンライン形式）

開催時期

令和8年7月24日

エ 精度管理研修会②【中堅実務コース】（日環協中部支部より受託：オンライン形式）

開催時期

令和8年9月17・18日

オ SOP（標準作業手順書）研修会（日環協中部支部と共催）

開催時期

令和8年10月30日

カ 大気・臭気分野の勉強会

開催時期

令和9年1月（詳細未定）

- (3) 環境計量士等研修会の開催（日環協中部支部と共催：オンライン形式）

環境計量士を対象として、環境問題に対する認識を深め、新しい分析技術を習得する。

開催時期

令和8年11月20日

- (4) 特別企画セミナーの開催（日環協中部支部と共催）

開催時期

令和9年3月（詳細未定）

2 広報活動

- (1) 環境保全広報の実施

環境保全の必要性や重要性を県民に広報する。

- (2) 会報誌「あいかんきょう」の発行

年4回

協会事業等を会員及び関係者に広報する。

発送時に広告チラシを同封するサービスを実施する。

- (3) 情報提供

環境測定分析関係情報を、インターネット・メール等を通じ提供する。

- (4) 環境関連事項についての調査

- (5) 環境月間講演会の開催

令和8年6月29日

3 共同実験（クロスチェック）の実施

分析技術の精度向上のため、会員以外の者も対象として実施する。

また、共同実験参加者による結果検討会を開催する。

水質関係の測定分析

令和8年7月（詳細未定）

騒音・振動関係の測定分析

令和8年11月（詳細未定）

4 施設見学会の実施

会員の環境に対する幅広い視野と知識を涵養するため、施設見学会を実施する。

5 環境相談窓口

県民からの測定分析その他環境に関する問合せに対応する。

6 関係行政機関行事への協力

(1) 愛知県環境局等の防災訓練に協力連携し、協定に基づく訓練を実施する。

(2) 愛知県環境局と「もりの学舎自然学校」が協力してゴールデンウィーク中に「モリコロパーク」で行う自然とのふれあい事業に協賛する。

(3) 令和8年5月に開催の「高校生ものづくりコンテスト（化学分析競技）」愛知大会に協力（試料調製、表彰状作成）する。

7 測定済証の発行

定期測定分析事業所に対し測定済証を貼付することにより測定済証の実施の履行を図る。

8 ガスメーター自主検査事業の実施

2回

9 愛環協ホームページの管理、運営

随時更新

10 計量証明書「承認様式」の認証

随時

11 正会員従業員表彰

環境測定分析業務に7年以上勤続の正会員従業員を表彰する。

12 喚起標語の募集と表彰

令和8年12月（募集）

環境計量に関する喚起標語を募集し、優秀作品は定時社員総会において表彰する。

13 写真コンテストの実施と表彰

令和8年7月（募集）

写真コンテストを実施し、優秀作品は令和9年度定時社員総会において表彰する。

1 4 景況調査の実施

令和 9 年 2 月

正会員に対して景況調査を実施する。

1 5 ブロック会議の開催

2 回

理事会審議事項の伝達、会員相互の情報交換及び親睦等のため、各ブロックごとに会議を開催する。

1 6 関係団体との連携協調

- (1) (一社) 日本環境測定分析協会、同中部支部と研修や共同実験、セミナー等を共催で実施するなど、連携協調を図る。
- (2) 「災害時相互応援協定」を締結している 9 県単※の意見交換会を開催する（名古屋市内で 9 月 11 日に予定、詳細は未定）。

※ (一社) 福島県環境測定・放射能計測協会、(一社) 埼玉県環境計量協議会、千葉県環境計量協会、東京都環境計量協議会、(一社) 神奈川県環境計量協議会、横浜市環境技術協議会、大阪環境測定分析事業者協会、堺市環境計量協議会及び(一社) 愛知県環境測定分析協会

- (3) (一社) 愛知県計量連合会、中部環境計量士会と連携協調を図る。

1 7 経費縮減の検討

文書の電子化や事務経費等の高騰を踏まえ、事務局移転等による経費縮減の検討を進め、今後の収支構造の更なる健全化を図る。

第2号報告 令和8年度収支予算について

令和8年度収支予算

(令和8年4月1日から令和9年3月31日まで)

単位:円

科 目	令和8年度予算 (a)	令和7年度予算 (b)	差 異 (a-b)
I 一般正味財産の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取入会金			
受取入会金	50,000	50,000	0
② 受取会費			
受取会費(正会員)	7,680,000	7,560,000	120,000
受取会費(賛助会員)	900,000	900,000	0
③ 事業収益			
研修会等収入	1,400,000	1,350,000	50,000
クロスチェック参加料	900,000	900,000	0
ガスメーター自主検査料	407,000	385,000	22,000
その他の事業収入	1,150,000	400,000	750,000
日環協中部支部委託事業収入	900,000	700,000	200,000
雑収入	300,000	250,000	50,000
経常収益 計 A	13,687,000	12,495,000	1,192,000
(2) 経常費用			
① 事業費			
委員会費	200,000	200,000	0
研修会等費	1,500,000	1,330,000	170,000
クロスチェック費	190,000	220,000	△ 30,000
ガスメーター自主検査費	407,000	385,000	22,000
広報活動費	1,500,000	1,400,000	100,000
ブロック活動費	320,000	315,000	5,000
環境関係行事協賛費	55,000	55,000	0
その他の事業費	810,000	60,000	750,000
事業費 計 B	4,982,000	3,965,000	1,017,000

単位:円

科 目	令和8年度予算 (a)	令和7年度予算 (b)	差 異 (a-b)
② 一般管理費			
給与手当	3,240,000	3,240,000	0
福利厚生費	1,200,000	1,200,000	0
事務所賃貸料	2,090,000	2,090,000	0
水道光熱費	900,000	900,000	0
通信運搬費	135,000	130,000	5,000
旅費交通費	50,000	50,000	0
印刷費	50,000	50,000	0
消耗品費	60,000	50,000	10,000
総会費	550,000	480,000	70,000
その他会議費	95,000	90,000	5,000
事務機リース料	110,000	120,000	△ 10,000
租税公課	110,000	70,000	40,000
退職給付費用	10,000	10,000	0
雑費	105,000	50,000	55,000
一般管理費 計 C	8,705,000	8,530,000	175,000
経常費用計 D=B+C	13,687,000	12,495,000	1,192,000
当期経常増減額 E=A-D	0	0	0
2. 経常外増減の部			
経常外収益	0	0	0
経常外収益計 F	0	0	0
経常外費用	0	0	0
予 備 費	0	0	0
経常外費用計 G	0	0	0
当期経常外増減額 H=F-G	0	0	0
当期一般正味財産 I=E+H	0	0	0
一般正味財産期首残高 J	4,794,080	4,229,667	564,413
Ⅱ 正味財産期末残高 I+J	4,794,080	4,229,667	564,413

科目間の流用を認める

[illegible]